

平成 28 年 12 月 16 日

SEMICON Japan 参加報告書

群馬大学 理工学部

電子情報理工学科

小林研究室 学部 4 年

新井 宏崇

1. 参加展示会名称

SEMICON Japan 2016

2. 開催場所

東京ビックサイト



3. 開催期間

2016/12/14(水) ~ 12/16(金)

(自身は 12/15 に参加)

4. 展示会概要

SEMICON Japan は今年で 40 回目の開催となる世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーン総合展示会である。その核となる半導体製造装置・材料については前工程から後工程までの全てを網羅する国内唯一の大規模国際展示会となる。

5. 報告・感想

この展示会で群馬大学 理工学府 電子情報部門 小林研究室として 4 件のポスター展示を行った。

小林先生が作成したテスト容易化に関するポスターに興味を持ち質問に来る人が多く、次に自身が研究を行っているフィボナッチ型 SAR ADC についてであった。

企業ブースでは実際に企業で使われていると思われる機械が実際に動作しているなど製品の研究・開発を身近に感じることができた。それと同時に企業の展示会に対する意気込みも伝わってきた。

